



宮原良治司教認可 発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行人 下町豊重 編集人 下町豊重 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部60円

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう 【福音宣教】若者とマリアの模範 【日本の教会】神の国のしるし

宮原良治福岡教区長 新年メッセージ

信じる喜びから 伝える喜びへ

この数年、全国でも福岡教区でも、震災や豪雨による被害が続きました。まだ数多くの方々が仮設住宅で生活を続けています。被災された方々を心にとめながら、新しい年を迎えた福岡教区民の上に、神様からの豊かな祝福と平和がありますようにお祈り致します。



これまでの取り組み

2018年の「教区の日」の機会に、福岡教区就任以来これまでの10年間の歩みを簡単に振り返りました。それぞれの教会で様々な行事や活動に取り組みながら、一丸となつて福音宣教に励んで来た

にもかかわらず、信徒数は教区全体では若干の減少が見られ、その主な要因に洗礼数の減少がありました。地域格差による二極化現象や少子高齢化の波が教会の中にも確実に影響を及ぼしています。外見に映る教会の日常的な姿に大きな変化は気付き難いですが、その質や内容といった内面に目を向けると、教会の形骸化が始まっているような気がします。

今年の目標

このような状況の中で、現状維持に固執して同じ事を繰り返し続け、新たな取り組みにチャレンジする姿勢や情熱が乏しいように感じます。

今年の目標は、フランシスコ教皇様の使徒的勧告『喜びに喜べ』に基づいて、「信じる喜びから伝える喜びへ」を福岡教区の目標にします。

第52回「世界平和の日」教皇メッセージ 「平和に奉仕する良い政治」

1月1日は「世界平和の日」。教皇フランシスコは「平和に奉仕する良い政治」（仮訳）とのタイトルでメッセージを発表している。

ルカ10章の「この家に平和があるように」とのキリストの言葉が、家庭・共同体・国・大陸というすべての「家」で実現するよう教皇は願っている。政治は人間的な共同体と組織をつくり上げる重要な役割を果たすもので、いのちの尊厳と平和に奉仕するときに、慈愛を具現化する優れた実践方法となるべきと教皇は述べ、組織や国の政治への責任についても強調している。2002年に亡くなったベトナム枢機卿が記した「政治家のための真福八端」を引用するなどして、「良い政治」に必要な価値・姿勢を具体的に示している。特に「相互の信頼」「他者や文化、環境に対する尊敬の念」の重要性を述べる。

メッセージ全文（日本語訳）はカトリック中央協議会ホームページに掲載予定。

私たちが3年間追求してきた、たいくしみの体験は、防水隔離室のように閉ざされた内側だけの営みではなく、いつも他者に開かれ、他者との出会いに基づくものでした。教皇様はそれを「他者を気遣う文化」と呼んで、「兄弟の苦しみに関して、無関心や顔を背けることのないように、また快適な生活を送るために問題にかかわることを避けて、無関心と個人主義に逃れようとする誘惑を捨て去り、無関心と偽善を払い除けるように」要請していました（『あ

われみあるかたとあわれな女』19・20番参照）。使徒的勧告『喜びに喜べ』の中でも、「神とのかかわりが首位であるのは事実ですが、私たちの生涯を判断する基準は何よりも他者に対して何をなしたかであるということとを忘れないでください。私たちが信じる心をサ聖祭で奉納された報告書には、慎重に検討を重ねた上で新たな挑戦に取り組んでいる事例や、悪戦苦闘しながらも新たな熱意で教区の目標に取り組んでいる報告もありました。聖霊の導きを信じながら、神の呼びかけにお応えしたいというこのような試行錯誤の努力の繰り返しこそ、教区の明るい未来を切り開いていくと確信しています。ご尽力くださっている皆様に心から感謝と敬意を申し上げます。

さらに、教皇はインドのマガール・テレサの言葉を引用しています。「私には人間的弱さがたくさんありますし、多くの間違いを犯しています。……けれどもあなたの方にはあなたのもとへ、私のもとへ、降りて来てくださり、この世界におけるご自分の愛といつくしみになるようにと、私たちの罪にもかわからず、私たちのみじめさにもかかわらず、私たちの欠点にもかかわらず、私たちに用いておられます。世界を愛されるために、そしてどれほど世界を愛しておられるかを示すために、神は私たちを頼みとしています。自分のことばかりかまけていては、他者のために使う時間がなくなってしまう（同107）。

この一年間、神を信じる信仰の喜びが、一人でも多くの人により広く具体的に伝わるように、そしてその広がりから心からの喜びを実感できるように努めたいと思います。

今年も、各教会や共同体で、それぞれの事情に応じた具体的な取り組みを話し合いながら、教区目標に関する実践的な活動や行事を企画・推進して下さるようお願いいたします。

教区全体としては、生活聖化委員会を中心に、使徒的勧告の第3章で触れられている「山上の垂訓」やマタイ福音書第25章「最後の審判」の場面の解説を教区報で一年かけて取り扱う企画を検討しています。さらに、この世に影響を与える福音宣教の機動力として教皇が第4章で挙げてくださった五つの点に関しても解説が検討されています。

また、教皇フランシスコは2019年10月を「宣教のための特別月間」とすることを決定・発表しています。教区・地区・小教区・各団体などのレベルで、そのための取り組みが検討され（例えば、使徒的勧告『喜びに喜べ』をテーマとした黙想会や研修会など

を企画する等）、推進されることを期待しています。北九州地区では、福者デイエゴ加賀山単人の殉教400年の企画が予定されています。

司祭団は総会中に「心の声に耳を傾ける」というテーマで相互の本音を分かち合い、深め、理解し合い、再出発する予定です。

教皇様は、私たち一人ひとりがそれぞれの置かれている場で、日常の些事を通して、愛を持って生き、自分に固有のあかしを示すように呼びかけています。「労働者は自分の仕事を誠意と能力を尽くして果すこと、既婚者は自分の妻や夫を愛し大切にすること、権限ある立場の人は共通善のために闘い、己の利益を顧みずにつとめること」によって、奉獻者は喜びをもって自分の献身を生きていることによつて「喜びに喜べ」14など、あかしの具体的な形態は数多く考えられると励ましています。

「復活された方が私たちの弱いいのちをご自分のいのち

実現するために選ばれたマリアにむかって、「あなたは、あなたを生んでくださった聖なる方をお生みになりました。これは驚天動地のこと」（『典礼聖歌』372「救い主を育てた母」参照）と歌い、神のはかり知れない思いをたたえてきました。

50数年前までのあのミサも、今振り返れば奇妙ですが、教会が聖霊に導かれて、主の受肉の神秘をミサのたぎりに思い起こしていたこともまたすごいこと。

時の話題

降誕節に思う

ことばは肉となつて… 祭の「日中のミサ」の福音朗読箇所を読んできました。当時ですからもちろんラテン語で。そして、「ことばは肉となつて、わたしたちの間に宿られた」ところで片膝を折り、深く頭をた

うに励みたいと思います。

今年の取り組み

今年も、各教会や共同体で、それぞれの事情に応じた具体的な取り組みを話し合いながら、教区目標に関する実践的な活動や行事を企画・推進して下さるようお願いいたします。

最後に 2027年の教区創立100周年まで8年となりま

新しい一年が始まった。今年は何が待っているのだろうか？ 昨年も巷（ちまた）ではいろいろながあつた。芸能界では大物と言われた人が亡くなり、相撲界では相撲道を愛して止まなかった人の突然の引退報告があつたり、自然界では巨大台風が相次いで来襲したり、肌を刺す酷暑の夏もあつた。外国では水害や大きな地震も起こつた。経済界でも自国優先の考え方が猛威を振るつた。宗教界では日本のカトリック者に枢機卿や多くの司教が送られた。喜びや悲しみが交錯した年だった

▼今年はどうな人と出会うのか。どんなことがあるのか。心身の衰えは拭えないが、新しい一年についていきたい。「神のなさることはすべて時に適っている」とコヘレトは語っている（コヘレトの言葉3章11節）。神から送られる一年も神の御手の中にあるもので、神が計画し、推し進められるもの。最高美の神がなさることは時宜に適つてすべて美しいのだ。だから、こちらこそすべてを委ねて生きるしかない。神のご計画は分からないが、神のみ旨は理解できない。イエス・キリストに任せられた神のみ旨を追い続けられ、神のお考えにあつた生き方ができる。我力ではなく、キリストに聞き、力をいただくながら今年も生きてゆこう。そのためには、キリストのみ言葉に触れ、聖体や罪のゆるしなどの諸秘跡に与かり、キリストの近くにいたいことも大事なことだ。また、キリストの一番の理解者だった聖母マリア様にも見守っていただけるように願いたい。新しい一年を神の母マリアと共に始めるのだから。（S）



みちくさ



### 「福音宣教」の問診と実践 ③ 宣教する弟子

レナト・フィリッピニ神父  
(聖ザベリオ宣教会・教区養成教化委員会担当)

「洗礼を受け、神の民のすべての成員は宣教する弟子となりました。」  
『福音の喜び』120)

洗礼を受けた私たち全員が宣教する弟子：

- \* 信者全員が宣教者。自分にしかできない宣教があるはず。
- \* 自分のできるスタイルを考えてみましょう。

「わたしたちは皆、福音宣教者として成長するよう、招かれています。自分が不完全な者であることは口実にはならないはずです。」(同 121)

- \* 宣教者として成長するために、自分の宣教スタイルを見つけてみましょう。
- \* 宣教するためにはどんなことが足りませんか。

「福音宣教の第一の動機は、それは、私たちが受けているイエスからの愛であり、イエスをますます愛するようにとわたしたちを促す、救いの体験です。しかし、愛する人について語ることに、その人を他人に紹介することにも、その人を知ってもらうことにも必要性を感じない愛とは、一体何なのでしょう。」(同 264)

- \* 福音宣教の第1動機は自分自身の救いの体験。
- \* 体験・信仰・生活をとおして、心から感じている。

「わたしはこの地上に派遣されているのです。そのために、わたしはこの世にあるのです。人々を照らし、祝福し、励まし、起き上がらせ、癒し、解放する使命の焼印を押された者として、自分を認識しなければなりません。」(同 273)

- \* わたしたちの福音宣教は、生活そのもの。
- \* わたしがこの世にあるのは、何のためですか。キリスト者として、人々を照らし、祝福し、励まし、起き上がらせ、癒し、解放する使命の焼印を押された。
- \* 教会内での奉仕はやるべきことの一部であり…
- \* 本来の宣教は、すべての人々、家族をはじめ、近所、職場、地域のため。

**実践のすすめ** 以上の『福音の喜び』の引用を一つ一つについて、話し合ってみましょう。15分だけでもいいから、ミサ後いかがでしょうか。定期的集まり、このようなテーマについて話し合うことは、信仰養成につながるのです。

「死の宣告を受けるといふのに、なぜそれほど晴れ晴れとした顔ができるのだ？」と約400年前、キリスト教迫害の時代に殉教を前に39歳のヨハネ服部甚五郎は次のように答えた。「私がこれほど喜び、死を恐れないのは終わりのないのち、ただご一体の創造主を見出し、そのお方を手で触れるほどに、確かなものと信じているからでございます。」

八代では1603年〜9年「死の宣告を受けるといふのに、なぜそれほど晴れ晴れとした顔ができるのだ？」と約400年前、キリスト教迫害の時代に殉教を前に39歳のヨハネ服部甚五郎は次のように答えた。「私がこれほど喜び、死を恐れないのは終わりのないのち、ただご一体の創造主を見出し、そのお方を手で触れるほどに、確かなものと信じているからでございます。」



殉教公園での記念ミサ

## 信仰の証し 熊本・八代殉教祭

### なぜそれほど晴れ晴れとした顔ができるのだ?

者の名前と共に植えられた11本の桜の木が配置されている。中央には殉教の様子が記された碑、端には東屋もある。「殉教者が今も生きて、私たちを見守っていることを感

じてほしい。また、世間の喧騒を離れて、瞑想・祈りの時を持つためにこの公園を訪れてほしい」と公園の改修や殉教祭に関わってきた長濱聰氏(八代教会信徒)は語る。

## 福岡黙想の家 ザビエル聖堂5周年記念講演

### 家族のためのキリスト教講演会

11月10日(土)、福岡黙想の家(福岡県宗像市)のザビエル聖堂にて「家族のためのキリスト教講演会」が開催された。この講演会を企画した来住(きし)英俊神父(御受難修道会)が講師を務めた。

この企画は、キリストチャンが、家族メンバー(あるいは友人)を誘って、1時間程度のキリスト教についての講演を聞いてもらうというものがある。来住師は「日本では、一家そろってクリスマスチャン



講演会を企画した来住神父

当日の講演内容は「キリストチャンとはどういう人たちか」ということに焦点を当てた。講演の主目的を「ノンクリスチャンが家庭内の(もしくは共生する仲間の)キリストチャンの生き方を理解すること」としているからだ。



駅前40分ほど募金を呼び掛けた

光丘教会の募金活動は今年で5年目。福音の光修道会のシスター川岡がネパールで貧しい家庭の為に保育園を立ち上げたことを機に、「そのお友達に栄養豊富なミルクを飲ませてあげたい」と教会学校が毎年募金活動を行っている。

対する落ち込みをつぶやいたり、時には自慢をしたり、様々な感情をぶつけたり…キリストを友とすることで、自分は幸せになったし、世間や人々と和解することもできた」と自身の歩みを分かちあった。約100人が来場し、アンケート回答のあった64人のうち、14人がノンクリスチャンだった。「この企画を続けることにより、信者間で宣教について語り合う機会を提供することも大切だ」と来住師は企画継続の意欲を示す。

ネパールにつながる光丘教会 街頭募金

12月16日ミサ後、聖堂の外で15分募金をした後、大人子ども約40人が最寄り駅の西鉄春日原駅に移り、駅前40分程、歩行者の方々に一生懸命に募金を呼びかけた。そして、1年分のミルク代を集めることができた。

子ども達からは「寒かったけどイエス様の為に頑張ってくれた。楽しかった。人の温かさを感じた」等々、喜びの声があがった。「この意義ある活動を今後も続けていきたい」と関係者は語る。

報告 光丘教会 柚淑眉

## 主のご降誕と新年のお慶びを申しあげます

教区長 宮原 良治司教	筑後地区 平田 直
教区本部事務局 青木 悟	今村・本郷 竹森 勇
福岡地区	大牟田 田中 重治
司教館付 (木の葉の里) 田川 清美	小郡 山元 眞
(サバティカル) 寺浜 亮司	久留米 宮崎 保司
司祭の家 山頭原太郎	二日市 竹内 英次
島 浦 俊雄	聖マリア病院 G・ピアッツィニ
糸島 平田 三好	臨床パストラル W・キッペス
大楠 谷口 尚志	北九州地区
古賀 O・ベルナルド	飯塚 L・アンジェイ
笹丘 遠山 満	黒崎・天神町 川上 惣一
浄水通・茶山 M・ヒルデン	小倉・門司 牧山 勝美
大名町 シン・カンス	新田原 イム・ドンビン
高宮 D・ジョンソン	戸畑・直方 大塚 美好
西新 M・ポール	水巻 青木 悟
箱崎 アン・トニオ・リ	湯川 深堀 勝人
光丘 平田 敬	行橋 井手 公平
吉塚 R・ロビンソン	パリ外国宣教会(八王寺) L・ベリオン
老司 W・マヘル	佐賀地区
イエズス会 S・オチョア	伊万里 S・リチャード
泉 類治	鹿島 L・マネルバ
Br.村岡 信慎	唐津・呼子 中村 信哉
Br.松島 忠雄	佐賀 下町 豊重
永富 久雄	多々・武雄 十時 伸治
夫津木 昇	鳥栖 山元 眞
Br.小川 孝志	馬渡島 D・アルビン
Br.阿部 光一	熊本地区
染野 治雄	荒尾・玉名 R・フィリッピニ
来住 英俊	帯山 D・マルケット
内山 恵介	崎津・大江・本渡
Br.笹田六合豊	手取 キム・ジョンゴン
森山 信三	菊池 V・アンソネッロ
S・オチョア	健軍 浦川 務
美野島司牧センター M・コース	島崎 A・トゥルコ
サン・スルピス司祭会	人吉 F・マツケイ
湯浅 俊治	武蔵ヶ丘 W・デンニ
湯浅 俊美	八代 H・オカロール
Q・ベルナルド	水俣 一ノ瀬 輝幸
日本カトリック神学院福岡	真命山 S・フランコ
キャンパス	酒井 淳

**【月例黙想会】**  
期日：① 1月12日(土)17時~13日(日)15時  
② 2月 9日(土)17時~10日(日)15時  
指導者：染野治雄 神父(御受難修道会)  
費用：8,700円(税込・指導料含む)

**【ロザリオの会】**  
期日：毎月第1土曜日 10時~15時  
指導者：内山恵介 神父(御受難修道会)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

**カトリック御受難修道会・福岡黙想の家**  
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)  
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

**ミサ用ワイン**

ヴァイノ デ ミサ  
**VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



小郡教会

筑後地区

アートで祈る平和週間



アート作品(手前)が展示された聖堂で行われたコンサート

2018年11月25日～12月2日、小郡教会(主任=山元眞神父)にて「平和を想い・平和を祈り・平和を生きる」をテーマに「秋の平和週間」が実施された。期間中、アート展「へいわ・みえかた」が開催され、9人のアーティストによる「平和」をテーマにした作品が聖堂に展示された。このアート展は西日本新聞でも取り上げられるなど注目を集めた。1週間の間には平和祈願ミサ、コンサート、テゼによる祈り、本田哲郎師の講演会「聖書が伝える平和」が行われ、信者でない方も多く教会を訪れた。

平和週間最終日の12月2日の平和祈願ミサでは、信者でない参加者を意識して、ミサ典礼の意味を簡単に説明しながら行われた。

説教で山元神父は、「私たちは宗教・宗派の関係なく、一人の例外もなく神から命を分け与えられここにいます。今回の企画を通して神の一部の人の神ではなくすべての人の神であると確信しました。神の現存に気づいたら、そのままでは居られないはず...仲間と聖霊に支えられ、互いの尊厳を守る生き方をしていきましょう」と語った。

午後にはマリimbaとサクソのコンサートの後、「次へのフィナーレ」で平和週間を閉幕。教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ』の結びの祈り「わたしたちの地球のための祈り」の歌を聴きながら地球環境を守り、平和を生きる決意を新たに。「終わりは何かの始まり...世界・地球・宇宙に目を向け、私たちの足元を見つめ直しながら歩みましょう」と山元神父は話す。



歌声と真摯な主への信仰と献身の姿で、来場者たちの心にクリスマスの愛を届けた。

第71回 福岡市民クリスマス 一人ひとりを守るキリストの愛



市民クリスマスの来場者を迎える実行委員ら

2018年12月7日(金)、冷え込みが厳しくなった夜に福岡市民会館で第71回福岡市民クリスマスが開催され、約600人が訪れた。「人々に希望の光を」との思いで、福岡市内の教会が教派を超えて、毎年準備を行っており、

71年間続いている。一年を通しての実行委員会、事前合同祈禱会で「市民クリスマスに足を運んでくださるすべての方が、救い主誕生の意味を深め、喜びに満たされますように」と祈り、当日もプログラム実施中に控室の一角に「祈禱室」が準備され、委員たちが交代で祈りをささげる。今年には森一弘名誉司教(真生会館理事長)がクリスマス・メッセージを届けた。「イエス・キリストの何が時空間を超えて人々の光となり、今も人を惹きつけるのか。それは、全身で、全生涯で訴える『愛』だ」と語り、「この『愛』は人間の常識における魅力はないが、この『愛』がなければ人間は生きていくことはできず、人々の深い飢え渇きに応えている」とクリスマスが記念される意味を説いた。また、「愛とは互いに大切にしよう」と、一人ひとりを守る価値があれば、社会に疑心暗鬼・不安・暴力が蔓延する」と述べた上で、「互いに喜びを与えあい、感謝しあつ

てクリスマスを祝いましょう」と呼びかけた。韓国から駆け付けたオンギジャンイ賛美宣教師も美しい

福岡刑務所でのクリスマス ようこそ、イエス様、私たちのこの世界に

2018年、映画『教誨師』が上映され話題となったが、福岡教区内にも教誨師として奉仕する司祭が5人いる。その内の一人、遠山満神父(笹丘教会主任)は月に一度、グループ教誨を行うために福岡刑務所を訪れる。グループ教誨とは、特定の宗教宗派の教誨に基づいて希望者を集合させた上で行う教誨で、遠山神父は2時間程度キリスト教に関する話をし、質問に答えたりする。福岡刑務所は男性のための刑務所で、受刑者の年齢層は幅広い。

12月7日(金)、福岡刑務所でクリスマス会が行われた。希望した参加者は約270人。会場となった刑務所内の講堂に受刑者が整列して集合する。ステージには飾

りとイルミネーションを施したクリスマスツリーとピアノ。舞台奥の幕には大きな十字架が吊るされている。遠山神父を含む3人の教誨師が登場し、クリスマス会を進

ホームレス支援の現場で考えたいのち・社会 夜の教室で学んだこと

11月25日(日)、大名町教会にて社会福音ネットワーク・福岡主催の講演会が開催された。講師は西南学院高等学校宗教主任で福岡おにぎり会理事の坂東資朗牧師。坂東師はホームレス支援を通して学んだことを、様々なエピソードを交えて語った。「ここにいたら、人に会える、声がする、することがある」と語った公園での路上生活者は、進んで公園の掃除をしている。「おにぎりを食べると次の日は目がよく見えるんです」との野宿者の言葉も坂東師の心に残っているという。「夜の教室のセンセイ」たちは社会の現実や人間本来のあり方を教えてくれる。また、「イエスさまから頂

福岡地区カトリック女性の会主催の勉強会 ボランティア、教会の奉仕の姿勢



勉強会の様子

福岡地区カトリック女性の会主催の「真の奉仕とは」と題したボランティア勉強会が12月8日(土)大名町教会講堂で60人の参加であった。前半は活動報告として社会奉仕担当の山下ゆかり氏(吉塚教会)の「ボランティアで今、問題になっていること」の話があり、その後、奉仕先の三か所(富の里、栄光病院、篠栗荘)の報告がなされ、その中で、ボランティアの高齢化や人数の減少等の課題が提起された。後半はイエスの聖心(み

こころ)病院(熊本市)で臨いた仕事」と長年夜回りを続ける老婦人、「先生、あつちの公園にも来ているよ」と教えてくれる学生たちも坂東師の「センセイ」だという。「路上生活者の言葉をどこまで信じていいのか」と疑ってしまう「ヤサシクナイ」自分に出会う葛藤を抱えながらも活動を続けるのは、仲間との繋がりがあからだ。講演会後半では、カトリック教会が推進する「社会の福音化」への思いが語られた。「老後破産」「外国人労働者」「AI時代」「改憲」「道徳の教科化」等の不穏な空気が流れる世の中にあつて、「すべての人を大切に社会と文化に変革する福音の担い手になる」大切さを分かち合った。

計報

セシリア 大田 妙子 修道女 (シヨファイユの幼キイエス修道会) 12月6日に帰天。享年92。



☆教皇フランシスコ講話集5



2017年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。日本の司教への親書、「カトリック教会のカテキズム」公布二十五周年記念講話、核兵器廃絶のための国際シンポジウムでのあいさつ、少数民族問題で揺れるミャンマーとバングラデシュへの司牧訪問の振り返りなどを収録。カトリック中央協議会発行 税込1188円

☆幸福の一手 いつもよろこびはすくそばに 加藤一二三著



「大丈夫、あなたの幸せは、用意されているから。」60年以上現役で戦い続けたカトリック棋士が語る、生涯を全力で幸せに生きるヒント。毎日明るく照らしてくれる、ひふみんからのメッセージ満載の一冊です。 毎日新聞出版発行 税込価格1080円

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 ・一般住宅(新築・改築工事) ・鉄骨工事 ・RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山 森山 新太郎 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 ☎(092)811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 聖心パウリーナキリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F 平日/AM10時30分~PM5時 旧曜/AM11時~PM2時(定休日水曜・祝日) TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601 URL:http://www.pauline.or.jp



年間目標 信じる喜びから伝える喜びへ

世界青年大会 WYD パナマ大会

「私は主のはしめです。お言葉どおり、この身になりますように」(ルカ1・38)

上記のテーマで1月22日～27日にワールドユースデー(WYD)がパナマで開催されます。...

1月18日～25日 キリスト教一致祈禱週間

テーマ: 「ただ正しいことのみを追求しなさい」

(申命記 16・20)

「その年のテーマの解説」「エキュメニカル礼拝式文」「八日間の聖書の黙想と祈り」...

福岡地区では下記の通り一致祈禱会が開催されます。

日時: 1月20日(日) 16時～17時

場所: 日本基督教団 福岡中部教会

(福岡市中央区大名2-4-36)

お誘いあわせの上、ご参加ください。

講演会 誰もが平和のつくり手になれるのです

「主の平和」をみなさんと分かち合いたいとおもいます。どなたでもご参加ください。お待ちしております。

日時: 1月14日(月・祝) 13時半～16時

場所: カトリック大名町教会 1階講堂

講師: 松浦悟郎司教(名古屋教区長)

テーマ: 誰もが平和のつくり手になれるのです

～私たちが選ぶ子どもたちの未来～

問合せ: ☎090・9583・2806 高瀬

☆前日の13日(日)の午後には、松浦悟郎司教を囲んでの高校生・青年の集いが企画されています。...

結婚講座(福岡・熊本地区)

<福岡地区>

日時: 1月19日～2月16日 毎土曜日 19時～21時半

場所: カトリック大名町教会

問合せ: ☎092・741・3687

<熊本地区>

日時: 1月19日～2月16日 毎土曜日 19時～21時半

場所: カトリック手取教会

問合せ: ☎096・352・3030

※参加費: カップルで10,000円(カップルでの参加が原則)

聖書による信徒養成 イエスのたとえ話

1月8日(火)スタート! 毎週火曜日、全11回(朝の部10時～、夜の部19時～)

聖書のたとえ話に耳を傾け、あなたはそれにどう応えていきますか?

場所: 手取教会・信徒会館ホール

指導: レナト神父(教区養成担当、玉名・荒尾教会主任、聖ザベリオ会会員)

問合せ: ☎096・352・3030 手取教会

教区信徒養成部主催 聖書講座

信仰生活を照らすために、マルコ福音書を中心に、読み、分かち合ひましょう

テーマ: いのちの糧としての聖書

日時: 1月13日(日) 14時～16時(隔月第2日曜日)

場所: カトリック大名町教会 1階講堂

講師: 森山信三神父(福岡コレジオ院長)

参加費: 1000円 ※旧新約聖書を持参のこと

問合せ: ☎080・5246・1816 畠山

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

1月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 1・2月

1月 5日(土) ロザリオの会 12日(土)～13日(日) 月例黙想会(募集中)

2月 2日(土) ロザリオの会 3日(日)～6日(水) 日本カトリック神学院 9日(土)～10日(日) 月例黙想会(募集中) 10日(日)～11日(月) 聖マリア在俗会

※お電話またはメールでお問合せください。 \*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385 Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ: 「祈り」神秘体験～キリストによって神との出会い

日時: 1月10日(木) 10時～13時

内容: 「わたしはある」(ヨハネ8・24, 28)

指導者: S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)

問合わせ先: 真命山諸宗教対話・霊性交流センター

次回: 2月14日(木) 「わたしはこの世の光である」

☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 1月5日(土)・19日(土) 10時～11時45分 2月2日(土)・16日(土) 10時～11時45分

場所: カトリック大名町教会小聖堂

世界子ども助け合いの日(献金) 1月27日(日)

Table with 2 columns: Date and Event details. Includes events like '神の母聖マリア 世界平和の日', '初金ミサ・サーリスの集い', '主の公現', etc.

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時～12時(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合わせ先) ☎092・521・2503 蓮尾

◆聖書に集う会(日時) 1月16日(水) 14時～15時(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階ホール(問合わせ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

◆美野島司牧センター(日時) 1月19日(土) 14時から17時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院3階(テーマ) 「たとえ話」に込められたイエスの思い(講師) 澤田豊成神父(聖パウロ修道会) (問合わせ先) ☎092・721・2031 永富神父

熊本

◆聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時) 毎週金曜日10時半～12時(場所) 手取教会信徒会館(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書と典礼の分かち合い(問合わせ先) ☎096・384・1693 中川

北九州

◆北九州召命を共に祈る会(日時) 1月10日(木) 14時から16時(場所) 小倉教会(内容) ミサと茶話会(問合わせ先) ☎0949・24・9905 藤井

司祭の異動

◆浄水通・茶山教会主任の寺浜亮司神父は諸事情によりしばらくの間、休養を取ります。両教会の協働司祭シン・カンス神父が主任代行を務めます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。心痛が深まった年の瀬に、北九州で開催中のルオ展に出かけてきました。「Ece homo」(この人を見よ)の言葉が心に留まり、受肉したイエス・キリストの姿を映す作品の数々に深い感動を覚え、「信仰の喜び」を新たにしました。福岡教区内でも、私たちの内に、地域に、路上に、刑務所に、教会に、家庭に、人となったイエスが深いいつくしみをもって現存しておられることを感じます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(C)

メモリーホール 業院・油山・野芥・小田部・今宿 馬出・南福岡・大野城・飯塚 市民葬儀・法事相談センター 六本松店・赤坂店 0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 内科・歯科臨床研修指定病院 地域医療支援病院 救命救急センター 総合周産期医療センター がん診療連携拠点病院 地域災害拠点病院 千830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL0942-35-3322(代表) FAX0942-34-3115 http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室 いくま整骨院 平日: 9:30～12:00 14:30～20:00 土曜: 9:30～15:00 休診: 日曜・祝祭日 福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F TEL 092-884-0134 ペトロ 生熊吉

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ! http://www.paulus.jp パウルスショップ メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター 10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 \*駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930